

市民に正しい情報提供を

質問

愛西市の一体性の確保、行財政基盤を確立していく最も重要となる4年間であり、財政支援を市民のために目的を明確にして活用していくことが八木市政に課せられている。総合斎苑と給食センターの建設は、愛西市の身の丈にあったより良い形、規模に変えて事業を継続していくものであり、箱物行政とは全く違う施策である。



鬼頭 勝治 議員

市民側に立つてどのようなサービスが得られるのか。子どもたちに何が確保されるのか。後の情報発信は。

質問

新しい衛生管理の基準を満たす給食センターにする。また、食の安全性やアレルギー対応についても、よりの確な対応が可能となる。

教育部長

全ての市民が安心して利用していただける斎苑施設を建設することは、市としての責任。全ての市民が公平・平等に利用していただける。

市民生活部長

全ての市民が安心して利用していただける斎苑施設を建設することは、市としての責任。全ての市民が公平・平等に利用していただける。

市民生活部長

広報誌などを活用し、早く情報を伝えていく。

教育部長

詳細設計をいち早く公表できよう配慮する。

道路などの基盤整備の実施は

質問

①丸島の交差点改良計画の現在の状況は。
②八開診療所の東側の南北道路と県道給父・西枇杷島線交差点付近の着手計画は。
③立田・八開を結ぶ通称農免道路の整備を北へ延ばす計画は。

経済建設部長

①一部の用地が未買収となっている。基本的に交差点改良は100%用地が確保できた時点で工事着手・施工としたい。

②交通安全上の支障は、承知しているが、用地交渉中、思うように進んでいない。

③市の継続事業として国庫補助金をもらい進めている。塩田町の交差点手前付近までの計画を持っている。

質問

目的や計画年度を定めて自信を持って取り組んで



八開診療所付近の県道交差点

ほしい。

①通学路の安全対策事業であり、事業着手の目標年度はいつか。

②多方面からの来客も予想される。早急に実現を。

経済建設部長

①事業着手の目標年度は、現時点では未定。
②今年度中に、工事に掛かる予定でいる。